

市民のつどい2015・第2回ふれ愛講座「新井深絵トーク&コンサート」(公演概要)

新宮市では平成27年11月3日、新宮市民会館において市民のつどい2015・第2回ふれ愛講座新井深絵（あらい みえ）トーク&コンサート『心 元気に』～一歩踏み出せば風は変わる～を開催しました。来場された約500人の皆さんは、在日二世のゴスペルシンガー新井深絵さんの温かく力強い歌声に聴き入り、込められたメッセーを感じ取っていました。

また、アンケートも実施し、約65%の方からご協力をいただきました。その中では、「トークも歌も素晴らしかった」「とても感動しました」「元気をいただきました」「涙が出ました」などの感想が寄せられています。詳しくは、一覧表のアンケート欄をクリックしていただくと、アンケート集計結果のPDFファイルがご覧いただけます。



新井さんは、大阪府出身の在日韓国人二世。民族学校から高校は日本の学校に進学し、やがて教職に就いた。交通事故に遭い後遺症に悩まされつつも、ゴスペルに出会い精神的に救われた経験を持つ。

新井さんは大山理保さんのピアノ、亀崎ヒロシさんのパーカッションに合わせて客席から『Greatest Love of All』を歌いながら登場。



トークでは、自身の生き立ち、幼い頃にされた意地悪を勇気と負けん気でも乗り越えたエピソードや、民族学校から日本の高校に入学して不安な日々から友人と打ち解けられるまで、それがとてもつらかったことなどを挙げ、「自分が自分を認められないのはしんどい」「いろんな自分がいて、全部が私。自分を好きになり、隣の人を好きになって、その輪が広がれば世界は平和になる。一人一人の心が元気でなければいけない」と呼びかけました。

ステージでは、演歌・歌謡曲メドレー、民謡メドレー（韓国・日本）、ゴスペルソング『Amazing Grace』『Oh,Happy day』や『サララ～生きよう～』などを熱唱。軽妙な語りとともに、会場を沸かした。曲によっては、うながして共に歌う、また、振り付けを行う一幕もあり、来場者はいずれも熱心に応え、一緒になって楽しんでいった。

アンコールでは、『好きになった人』『あなたの言葉』の2曲を披露しました。

歌声を披露する新井深絵さん（新宮市民会館）平成27年11月3日（火）